

# 石城時報

石城郡石城町平野町十四  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
石城郡石城町平野町十四  
電話 一〇〇  
廣告料 一行十四字 一月五拾錢  
▲日刊(日曜、祭日)休刊

## 第三校を増築した上 運動場を擴張

### 敷地四百坪を買収

平第四小學校新築問題は過般の豫算内示會で第三小學校九學級増築費一萬七千圓が認められたので結局消滅の形となつたわけであるが、町當局では増築した上更に四百坪の土地を買収し第三校運動場を擴張する事に決定した。

## 郡農會協議會

石城は少なからず不經濟な立場にお郡農會では平署會議室に於て左記日割で各種協議會を開催する  
▲二十二日午前十時より自給肥  
▲二十四日午前十時より農村經濟自力更生委員協議會  
▲二十五日午前十時より米穀現在高調査委員協議會

## 町會議員の日當

### 明年から二倍になる 形式を年額に変更

平町會議員の日當は數年前までな事情から考へ一日一圓の日當は一日二圓の割であつたのを町では氣の毒であるといふ意見が議一部分の人々は人氣取りのため多くなつて來たので明年度から二圓に減額したが、町會議員中額する事になつた。即ち日當には水道料金さい納付出來ぬ人の制度を年額に改め年額五十圓もあり役場では止むを得ず日當にするわけであるが、これは前を水道料金に振り替へてゐる様年度に日給を支給された日數二

十五日内外であつたので一日二圓の割に計算し決定したもので之がため會議費は前年九百圓であつたものが千七百七十二圓となり八百七十二圓の増加で約二倍になつてゐる。

## 經濟更生委員會

石城郡大浦村では二十一日午前平職業紹介所は從來四家所長の九時から同村役場で經濟更生委員外雇員一名で事務を取扱つての員會を開き自力更生の方針につたが、事務繁忙を極めて來たの協議するが、委員は村會議員で明年から更に雇員一名を増す前村長、農會長との他有力家を事になつた。

## 多門師團長來平を機に 國防研究會組織

石城郡在郷軍人聯合分會では非後五時から町料亭新米におに常時に當り會員の國防智識を向て工費三百餘萬圓、一大商港を上且確固たる認識を吹ッ込むた目指して目下工事中の築港工事め町村分會單位の國防研究聯盟事務所長疑獄事件を惹起して休の結成につき目下その具体案の職となつた榎木篤夫氏の跡を受て考中であるが、平分會では近けて就任した福來惣十郎氏の大來平する事になつてゐる多門歡迎會を町主催で盛大に開催し師團長を迎へその發會式を舉げた。

## 福來所長 盛大な歡迎會

石城郡小名濱町では二十一日午

## 湯本に愛湯會

石城郡湯本町では炭礦の地下採掘によつて温泉町としての前途を失ひ昨今衰微の一途をたどつてゐるのに鑑み町川崎長光外敷氏の有志發起の下に「愛湯會」なるものを近く組織し復興發展策を講ずる事になつた。

## 平紹介所 明年から増員

石城郡大浦村では二十一日午前平職業紹介所は從來四家所長の九時から同村役場で經濟更生委員外雇員一名で事務を取扱つての員會を開き自力更生の方針につたが、事務繁忙を極めて來たの協議するが、委員は村會議員で明年から更に雇員一名を増す前村長、農會長との他有力家を事になつた。

## 名物「もち飴」 好評を博す

平町二丁目北海屋商店主皆川新一氏は早くから糯米製もち飴の製造を計劃してゐたが、愈々工場建築も竣工したので東京から職人を雇へ警備名物として賣出す事になつた。もち飴は普通の飴と異なり殊に病人の滋養食料として最適品であるばかりでなく一個宛包装し入りとなつてゐるため体裁もよく贈答品としても卓越した品である。二十日からは賣出し紀念のため二割引で奉仕的に販賣中であるが好評を博してゐる。

## 小名濱築港の 炭礦寄附問題

小名濱築港修築費六十萬圓増額に伴ふ炭礦側の寄附問題は既報の如く十萬圓となつたので目下上京中の赤土内務部長は炭礦本社に對し更に増額寄附方を交渉し、その條件についても炭礦側の希望を出るだけ容れ少くも十五萬圓の寄附をなさしむべく努力してゐるが、どうしても十萬圓しか寄附が出来ない場合は來る臨時議會に向つて増額案の提出を見合はせることに決定したが、縣は同港將來のため本年度増額案が決定しないにしろ完成年度昭和十二年までとなつてゐるので能ふべくれば次年度以降において成るべく増額を斷行する方針である。右につき赤木知事は語る

## 鮫川疏水の工事 四月から愈々着工

古川傳一氏等の努力奏効して地元の希望容れられる模様

鮫川堰農業水利事業は總工費三、六六萬九千六百六十六圓を以て七年にわたる過般市橋耕地課長が上度ら五ヶ年繼續事業として若工京農林省に對して促進運動を試みる計割で既に假認可の指令がみたが結局本指令の到達は四月

## 映畫を焼いた運轉手 一ヶ月間就業停止

石城郡湯本町算井鈴木稻實方自になるらしいので取敢ず本年度動車運轉手古川三千彦(二五)は賃地測量を行つて單に起工式昨年十二月十八日平町から湯本を舉げるに止め、四月から正式町に乘合自動車運轉手平町一丁に着工する豫定で計劃を進めて目街路でバッテリーから火花がある、なほ同工事の方法について散つてゐるのを知りながら修理では古川傳一氏等が屢々地元請た國際聯盟會議が愈々急を告げせず火花が運轉臺に積んであつた負の陳情をなしてゐたが、更に平館のフィルムに延火し火災地元では工費を立替へて五ヶ年たごさい傳へられてゐるが、之を起してフィルム二十巻を焼い計劃を八、九兩年度に完成するが地方經濟界に及ぼす影響について平町某銀行支店長は左の如く語つた。

## 聯盟脱退 地方經濟界

あるから何とかしたいと苦心してゐる譯である。

「日本の國際聯盟脱退は己むを得ないけれども直ちに經濟封鎖を行はれるものと見るのは早計である。自分は經濟封鎖等は行はれまいと観測して居るが、勿論その封鎖が行はれないでも經濟界に不利な影響は齎すことにならうが、これがために經濟封鎖を豫想して騒ぎたてることが尙更早計である。萬策盡きて己むを得ず脱退するのはよんどころがないけれどもこれにせよ最後まで平和を持続するところを外交の妙味があらう。脱退して直ちに戦争するのは外交も何にもありやしない。それでは全權などは誰でもよい筈だ。脱退しても日本全權は平和を持続することに努力してゐるであらうから經濟界に關係ある人々は勿論一般國民は暫らく静觀する必要があるらう、それは經濟知識が行はれることになればインフレーションも自然に見合せとなり差當り生糸などは例の如くも知れないが、しかし生糸も買れないとなつればアメリカの綿糸も日本に買れないやうになるから外國でも困ることになり、經濟知識はそうした實情に徴しても行はれるものではなから自分自身は觀察してゐる。

式儀  
折詰法  
製造

お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚  
平町一丁目  
電話一四一四番

磐城名物...糯米製  
北海屋の

もち能

廿日より五日間二割引發賣致しますから  
何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致  
します。  
●滋養豊富・味佳良ですから御病人の御見舞に最適  
●價格低廉・萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈  
答用に最適品。

平町字二丁目  
北海屋製菓部  
電話三八八番

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎  
電話九九九番

外科  
花柳病科  
專門

平町六丁目橋際  
木村外科醫院  
電話三〇九番

病室完備  
平町南町  
X光線科  
上田外科醫院  
電話一二九番

消費節約  
品質本位  
家庭染料  
みやぶ染  
平町一丁目  
特約店 大平や藥店  
電話四六二番

内科  
難波醫院  
醫學博士 難波睦  
平町大町新川端  
電話(五〇二番)

貸切御用命  
三井自動車部へ  
電話六八五番  
乗合は 好間・合戸・澤渡方面行



木村病院  
電話一六四番

上田外科醫院  
電話一二九番

藤沼醫院  
電話五〇七番

内科 專門  
腸胃科 專門  
皮膚科 專門  
婦人病 專門  
淋病 專門  
梅毒 專門  
松村  
胃腸病 專門  
性病 專門  
平町南町  
電話【七〇一】

耳鼻咽喉科  
氣管食道科  
專門

病室完備：自炊の便あり  
平町町南  
大和田醫院  
電話一七〇番

平看護婦會  
會長 清野キヨ  
平町字南町【電話三〇七番】  
看護婦派出の需めに應じます

耳鼻咽喉科  
專門

平町田町七十番地

山内醫院  
醫學士 山内亨吉  
電話六九一

入院隨意  
病室完備

廣告

新任外科部長  
內科學士來任

七月十一日より毎日診療ニ從事ス

內臟外科  
整形外科  
泌尿器科  
醫學士 內木宗八  
昭和七年七月

平町新川町十九番地  
木村病院  
電話一六四番

產婦人科